

株主の皆様へ

『シリウスビジョン』は、3年目を迎えました。ご存知の通り、私たちの生活は、足掛け3年にわたり、新型コロナウイルス感染症に苦しめられました。どこかSFの世界のことだと考えていたパンデミックが現実のものとなりました。感染症に苦しまれた方、後遺症に悩まされている方にお見舞い申し上げますと共に、残念ながらお亡くなりになられた方、ご遺族の方々にお悔やみ申し上げます。この感染症は、当社グループにも試練を与えました。苦難の連続に、株主の皆様には、ご心配をおかけしております。

当社グループは、画像検査という技術の中核とする企業群です。この技術は、電子基板検査で磨いたものですが、電子部品市場は巨大なマーケットであるが故に、コントロール不能な大きな潮流を生みます。波高ければ谷深し、当社グループはリーマン・ショックという波に呑みこまれそうになりました。このとき、お客様へのサービス継続と会社存続のためには、足許を固める事業の必要性を感じ、国内の安定した印刷市場に着目、印刷物の検査に参入いたしました。全速力で走り続けてきたことで、一定の認知はいただけたとは感じていますが、新型コロナウイルス感染症は、当社グループにとって再度の試練となりました。しかし、回避できない困難が私たちを強くするのも事実と受け止めております。

2022年は将来に向けた準備を重点的に行いました。新製品・新技術への研究開発投資、DX分野への新規事業投資、そして組織改革を進めて参りました。変化の早い社会に対応するためのシステム開発手法として知られるアジャイルは、組織運営にも応用されています。このアジャイル型組織の運営手法を取り入れ、組織のフラット化を目指しました。ビジネスの成長は組織を膨張させ、一人のリーダーがマネジメント可能な人数の限界を超えていきます。企業はゴーイングコンサーンと呼ばれ、人間の寿命とは一致しません。長期的な成長に人材と能力開発は不可欠です。アジャイル型組織は、情報共有、責任の明確化、個人の力をチームの力にシフトさせることで、意思決定の迅速さや責任感を醸成します。フラット化された強い経営基盤は、当社グループと業界の将来を担い、長く続く成長の源泉と考えております。

当社のロゴSiriusVisionの「i」の文字に、点はひとつしかありません。これは、未完成であることを意味しています。一時的な完成に満足せず、より高い目標にチャレンジし続ける姿勢を忘れないためです。この[SiriusVision]に込めた思いを実現することで、これまでのご支援とご厚情に深謝し、株主の皆様のご期待に応えたい所存でございます。

引き続き、全力で邁進して参ります。
よろしく願い申し上げます。

2023年3月吉日

代表取締役 辻谷 潤一



SiriusVision

第44期 株主通信

2022年1月1日～2022年12月31日

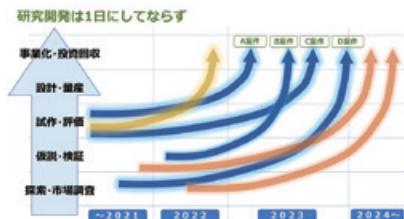
オンラインワン画像検査技術で
世界の製品品質向上に貢献し、
人々の生活に豊かさや幸福をもたらす

[証券コード：6276]

シリウスビジョン株式会社

研究開発投資

2018年12月、現在の研究開発本部長石村を研究開発室長に迎え、研究開発体制を一変しました。当社グループの成長に必要な技術を長期的な視野で、市場調査・仮説検証・試作評価・設計量産・事業化(投資回収)という位置づけにより、従来の研究開発案件を全て見直しました。2020年には、意思決定の迅速化のために別法人としましたが、グループ全体のシナジーを高めるために2022年に当社に再度合流しています。この間、研究開発投資総額は8億円超、特に2022年は、投資額が12.1億円を超え、会社規模にしては多額となりすぎているという批判もありました。当社としては歯を喰いしばった投資を継続した結果、2021年には多くの案件が試作評価段階に入り、2023年には将来の事業の柱として成長が期待される案件が順次事業化を迎えます。これまで世の中になかった技術を確立し、生産現場での作業負担を軽減する、未来を見据えた研究開発を行っています。



スマートシリーズ

難易度の高い検査はどうしても検査機自体が高価になってしまいますが、既存の技術を利用し、機能を限定すれば、価格は抑えられます。単に割安なだけでなく、汎用性が高く、誰でも簡単に使えることをコンセプトに開発したのが、スマートシリーズです。

Smaco(スマコ)は、角2サイズ(240mm×332mm)から小サイズまで多様な製品形状に対応し、可変データ検査に対応可能です。1枚ものから厚みのあるものまで幅広く搬送できるマルチフィーダーを装備し、検査設定は3ステップ程度と、誰でも簡単に操作できます。S-Con Smart(エスコン・スマート)は、これまで別工程で行うしかなかった「汚れ等の品質検査」と「バーコード等の可変検査」を同時に行うことができます。S-Lab Combi(エスラボ・コンビ)は、プリンタで追刷りするバーコードや英数字の印字の検査や、ラベル絵柄の検査が卓上でできるコンパクトサイズの検査機です。こうした製品群は、生産現場での検査業務における目視検査の負担軽減と、製造業者の生産性改善に資すると考えています。



Smaco (スマコ)
スマートコンバ
一体型シート検査機
シート可変検査機 (エアカメラ)



S-Con Smart
一体型全面シート検査機
シート品質検査機 (CIS)



大阪技術センター

当社は、前身の大平工業株式会社が1977年に大阪府堺市に移転、1993年に本社ビルを竣工しました。2021年、神奈川県横浜市に本社移転したものの、研究開発拠点と一部機能を堺市に残しておりましたが、2022年、VOSTECの大阪府大阪市西成区への移転に伴い、45年の長きにわたりお世話になった大阪府堺市を離れることとなりました。

やや手狭であった拠点から3フロア550㎡のスペースを確保し、研究開発員もレイアウト設計に関わったオフィスで、クリエイティブなアイデアを形にしています。



GRACE(グレイス)

スーパーやコンビニなどで日常的によく目にするビニールのパッケージは、業界ではグラビア印刷と呼ばれます。このグラビア印刷には、円筒状のクロムメッキシリンダー版が使われますが、この版を直接検査するのがS-Scan GRACEです。シリンダー版検査機は、高解像度ラインカメラを搭載し、業界最高の分解能10μm/画素の高精度検査が可能となっています。シリンダーサイズ(面長)250~1,500mm×(周長)360~1,200mmに対応し、背景ベタ面の微細欠陥だけでなく、難易度の高い網点絵柄内の欠陥も検出できます。また、エアブローと共に、シリンダーに付着する埃・塵を除去する除電粉塵除去ブラシを標準装備、ウィザード式簡易設定操作ツールNEOで誰でも簡単に検査設定、高度なハードウェアを易しいソフトウェア操作で使いこなせる工夫で、生産現場を支援します。

グラビア印刷用シリンダー版 検査システム
S-Scan GRACE (グレイス)



画像検査の現場では、人の目が頼りの目視検査が不可欠です。人の高度なスキルや経験は、機械やソフトウェアでは、なかなか代替できません。この領域に、画像検査の基幹技術と最新のAI技術を融合させ、熟練検査員と同等の良否判定と欠陥分類の自動化を実現させました。当社グループでは、オンプレミスでのAIシステムとしてSirius-AIS(シリウスアイズ)を、クラウドではUniARTSの機能として提供します。深層学習の成果をより精度の高いものにするために、アノテーション作業を効率的に行う学習支援システムも用意しています。またAI機能はサブスクリプションで提供することで、利用と中止の判断を機動的に行うことができ、リーズナブルな料金体系も実現しています。



クラウドアプリケーションの企画・開発・運営を行う株式会社ウェブインパクトは、当社グループに参画後、収支構造改革に成功し、グループの重要な収益の柱のひとつとなっています。東京コアは、Willable株式会社への画像検査ソフトウェア開発支援によりAsmilVisionの高機能化・安定化に貢献しています。豊橋コアは、産学官共同開発に定評があり、位置情報可視化システムや、非接触型ワクチン集団接種支援システムの開発など、多くの実績を上げてきました。長年にわたる国立大学法人豊橋技術科学大学への学生向け実務訓練の協力は高く評価され、昨年、同大学より感謝状を授与されています。豊橋市子ども未来館の「ココニコ」市電シミュレータの復旧プロジェクトを支援し、クラウドファンディングによる資金調達で実現に漕ぎつけ、子供たちの未来に貢献しています。パンデミックにより当たり前となっているテレワークを20年以上前から実践、子育て応援企業として豊橋市から特別賞をいただいたこともある当社は、地元根差した、技術も働き方も先端IT企業として歩んでいます。



商号 シリウスビジョン株式会社
 証券コード 6276
 所在地 〒222-0033
 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目4番地17
 設立日 1966年9月
 資本金 100百万円
 事業内容 画像検査機、画像検査ソフトウェアおよび
 画像検査関連製品の企画、開発、販売、技術支援
 従業員数 62名(連結124名)

●役員 (2023年3月23日現在)

代表取締役	辻谷 潤一
専務取締役	日沼 徹
常務取締役	武士 侯進
取締役	重田 篤史
取締役	平川 大
常勤監査役	大山 弘
監査役	吉嶋 厚
監査役	鈴木 雅士

発行可能株式総数 15,780,000株
 発行済株式の総数 5,722,500株
 株主数 2,040名

●大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
シリウスビジョン持株会	370,700	7.76
株式会社Iホールディングス	250,000	5.23
株式会社千代田グラビヤ	230,300	4.82
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	179,300	3.75
光通信株式会社	169,000	3.54
ソジカワ株式会社	150,420	3.15
水元 公仁	150,000	3.14
メッシュ株式会社	144,610	3.03
日本生命保険相互会社	114,400	2.39
上野 良武	102,710	2.15

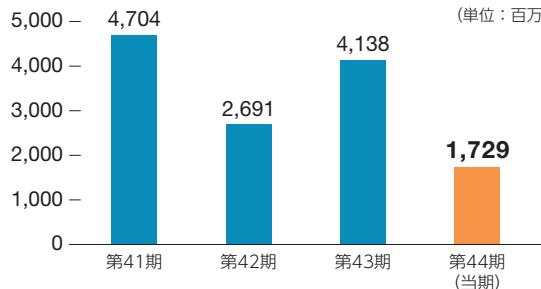
※持株比率は、自己株式(943,610株)を控除して計算しております。

財務ハイライト (連結)

売上高

17億29百万円

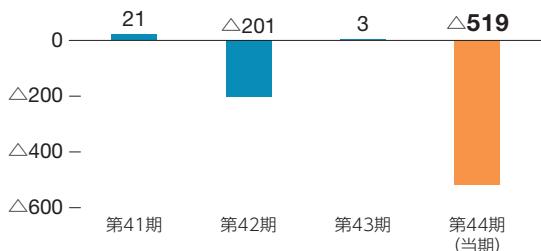
(単位：百万円)



営業利益

△5億19百万円

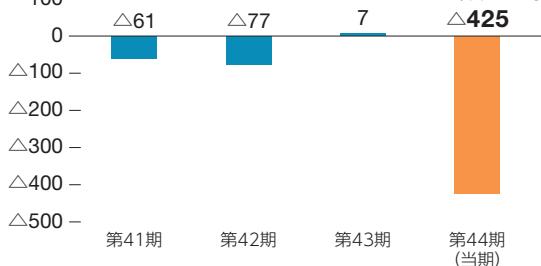
(単位：百万円)



親会社株主に 帰属する当期純利益

△4億25百万円

(単位：百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

第44期の配当につきましては、1株につき10円00銭とさせていただきます。

株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第44期定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページ (<https://siriusvision.jp>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 3月中に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://siriusvision.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

詳しい財務情報は、当社ホームページをご覧ください▶▶

<https://siriusvision.jp>

シリウスビジョン株式会社